



あなたの教室開設を応援します! ～教室開設バックアップ事業@阿倍野～

第2弾!

市民の学びたい気持ちにこたえ、趣味や教養などの教室を開設しようとする個人・グループ・団体を募集します。

概要

- 実施期間（平成28年1月～3月）内で、センターが指定する部屋・時間帯に連続した教室を開催できること。
- 教室開設にかかる部屋使用料を負担できること。
- 教室開設で使用する部屋は優先的にセンターが確保します。
- 教室開設の実施に当たっては、センターが広報・受付事務を行います。
- 開設のための最少催行人数を設定していただきます。応募がその人数に満たない場合は、開講しなくとも初回分のお部屋代を負担していただきます。

部屋名	定員／広さ	
スタジオ	30人／125㎡	ダンス、ヨガ、体操など体を動かす教室に！シャワー室やロッカー完備！
アトリエ（多目的室）	30人／83㎡	絵画、工芸、書道など創作活動に！水道設備もあります！
和室	15人／14畳	茶道、華道、着付け、邦楽器の教室などにも使用できます！



スタジオ



アトリエ



和室

申込 所定の募集要項に記入し提出していただきます。お問合せ・申込は下記へ。 **締切** 9月25日（金） 必着

主催・問合せ先 〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階
大阪市立阿倍野市民学習センター TEL.06-6634-7951
FAX.06-6634-7954



おおさか歴史探訪 93

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

ダイビル本館の「鷲と少女の像」 — 互いに引き立てあう建築と彫刻 —

20世紀に入ったころから、市民が美術作品に親しむ機会が増え、市民を対象とした美術館がつくられたり、公園に彫刻が置かれたりするようになりました。この頃、いくつかの近代建築の外観に彫刻などを飾ることがおこなわれました。

北区中之島3丁目にある旧ダイビルは大正14年に竣工した鉄筋コンクリート造りの建物でした。設計は関西を代表する建築家、渡辺節です。旧ダイビルは建て直されましたが、外壁はそのまま残され、堂島川に面した1階正面玄関の半円アーチ上部に、「鷲と少女の像」は今も当初と同様に飾られています。3羽の鷲の背に乗る少女の彫刻です。少女は古代風の長衣をまとい、右手を斜め上方に掲げ、指さす方向を見上げています。3羽の鷲は左右に大きく翼を広げ、今にも飛び立とうとしています。周囲の彫刻装飾と同様に龍山石と呼ばれる凝灰岩に肉厚に彫り込まれています。

作者は^{おおくにいてぞう}大国貞蔵(1890～1950)という大阪生まれの彫刻家で、大正5年、東京美術学校（現東京芸術大学）彫刻科を卒業。若くして認められ、彫刻界の重鎮として若手の育成にも貢献しました。近代建築についても造詣が深く、昭和10年11月の東京朝日新聞に、現在の東京上野駅（昭和7年竣工）について、「機能的なのは良いがいかにも駅という雰囲気である。旅行の軽快な気分を象徴した二三人の男性の群像を正面の屋上に飾れば外観が引き締まり、生彩がでてくる」といった文章を載せています。大国が建物と彫刻の関係をどのように捉えていたかがわかる興味深い論評です。

旧ダイビルの建物と「鷲と少女の像」は互いに引き立てあい、近代大阪を彩る都市芸術として、長く市民に親しまれてきました。（大阪市教育委員会 文化財保護課）



「鷲と少女の像」